

個々の環境意識を大切に グループ全体の環境力を 高めていきたい



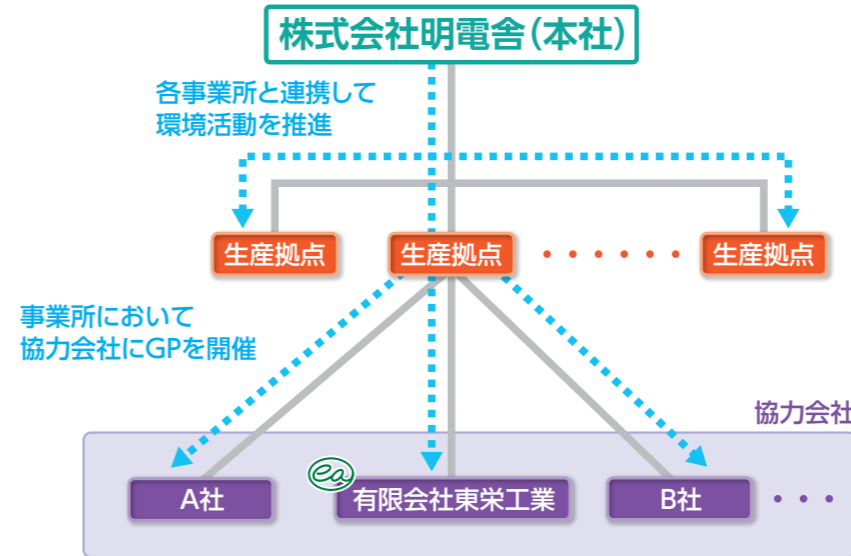
株式会社明電舎
資材グループ長 村嶋 久裕
環境戦略部長 堀越 諭

グループとして「環境基本理念」の下、様々な環境行動、取り組みを実践している株式会社明電舎。グループ企業はもちろん、取引先である協力会社にも環境経営を知り、積極的に取り組んでもらいたいと、エコアクション21中央事務局・地域事務局が無料で提供する「関係企業グリーン化プログラム(GP)」を導入、昨年度から運用を開始され、初年度にも関わらず、エコアクション21の認証取得企業を生み出しました。その明電舎からの誘いに応え、プログラムに参加した有限会社東栄工業。プログラムの恩恵を受け、10年の時を経て、エコアクション21の認証を取得するに至りました。板金加工を主要な事業とする同社には、明電舎もその将来を期待していると言います。

株式会社明電舎 × 有限会社東栄工業



有限会社東栄工業
代表取締役社長 森田 茂
専務取締役 森田一茂



株式会社明電舎

〒141-6029 東京都品川区大崎二丁目1番1号
ThinkPark Tower(本社)
【事業内容】 発・変電等エネルギーシステム、水処理システム、情報通信システム、産業システム等の開発、生産、販売、サービス

有限会社東栄工業

〒411-0824 静岡県三島市長伏155番地の1
【事業内容】 精密板金加工、配電盤・制御盤・監視盤等の電設盤類の設計制作
【EA21 認証・登録番号】 0011076 (最新の環境活動レポートは <http://www.ea21.jp/list/pdf/0011076.pdf> をご覧ください)

株式会社明電舎

企業が企業のEMS導入を支援する制度に 環境への取り組みが推進できると考えました

グリーン調達をいかに増やしていくか、その比率をどのように上げていくかが、ひとつの課題でした。それには調達品を納入されている取引先企業、明電舎のものづくりを支えていただいている協力会社の皆様に、環境に向き合っていただく必要があると感じました。そうしたなか、企業が企業のEMS導入を支援する制度「グリーン化プログラム」の存在を知り、これを使えば環境への取り組みを推進していくことができるのではないかと考え、導入、実施することにしました。協力会社は、規模の大きなところばかりではありません。むしろ中小規模の企業が数多く、そうした企業にISO14001は敷居が高いように思います。エコアクション21は、中小企業での導入を意識した作りで、これから取り組もうとする中小の協力会社には、費用やしきみのシンプルさなど、まさにぴったりのEMSでした。環境活動は環境対応ができるだけにとどまりません。エコアクション21に取り組むことによって、企業リスクを減らすことができ、それは社会貢献、CSRにつながります。生産性も上がり、利益も生まれる。ものづくりの質を向上させる要素も

ぎっしり詰まっています。単に環境のためにやるのではなく、複合的な活用、メリットがあることを伝えて、自主的な取り組みを促しているところ。何事もやらされ感ではダメなんじゃないでしょうか。本業に生かせるツールであることに気づいていただけた企業から、認証取得へ前向きになっていただけている印象です。

勉強会での参加企業のつながり 不安や悩みの共有、そして緩やかな競争心が モチベーションにつながっているようです

集合教育である勉強会では、参加企業の間で横のつながり、コミュニケーションが生まれているようです。不安や悩みの共有、緩やかな競争心が、その後のモチベーション維持にもつながっているのではないのでしょうか。複数回の集合教育の合間に、それぞれの企業の理解度、進捗度に合わせ、効果的にEco-CRIPを組み合わされたのも、プログラム実施1年目でエコアクション21認証取得企業を生み出した要因だと思っています。

導 入 行

きっかけは明電舎さんからのお声掛けです

直接のきっかけは、明電舎さんからのお声掛けです。環境への取り組みをグループ全体として進めていこうと「グリーン化プログラム」へのお誘いを受けたことが、エコアクション21導入につながりました。実は10年ほど前にも一度、導入を検討したのですが…そのときは、決断できませんでした。ただ、時代の流れなのか企業の環境活動に注目が集まるようになり、一企業としての責務を考えるようになってきて…お声掛けをいただいたのは、まさにそのようなときで、お客様に安心・安全をお届けできる企業でありたい、そして東栄工業をより良い企業としたいとの思いから勉強会への参加、そして認証取得を決めました。

勉強会は本当にありがたかった ひとりぼっちにならなかったことは大きい

勉強会は本当にありがたかったです。はじめは不安でしたが、教室を見渡せば顔見知りの仲間がいて、不安や悩みをざっくばらんに話すことができました。ひとりぼっちにならなかったことは大きいですよ。環境に関する関連法規等は、とにかくわからない言葉だらけで、講師をいつも質問責めでした(笑)。一つひとつ疑問を解決できたのは、明電舎さんのプログラムのおかげだと思っています。法令に関する持ち帰り事項を従業員と共有することで、自然とコミュニケーションが深まり、職場の雰囲気もさらに良くなったと感じています。集合教育のプログラムでは理解できなかったこと、つまづいたことを、講師の個別訪問により教えていただいたことも、大変助かりました。Eco-CRIPと言うそうですが、集合+個別という明電舎さんの心遣い、手厚いサポートに感謝するとともに、環境活動に対する熱い思いを感じて、認証取得まで頑張る勇気ももらいました。

従業員の誇らしい笑顔に エコアクション21導入を 決断して本当に良かったと思いました

エコアクション21という公的認証の取得が認められたことで従業員ひとり一人がプライドを持てるようになったこと、そして、従業員の前で取得を報告したときにみんなが誇らしい笑顔を見せてくれたこと—エコアクション21導入を決断して、本当に良かったと思いました。

成 効 果

エコアクション21は「社内管理プログラムの総合パッケージ」 社内のあらゆるシーンに活用できるツールと捉えています

よく聞かれるのが「導入しても効果のほどがわからないのでは」というものです。それでもプログラムに参加し、エコアクション21を導入した企業からは、「社内管理にも効果が実感できる」との声が届いています。私どもではエコアクション21を、社内のあらゆるシーンで活用できる「社内管理プログラムのパッケージ」と捉え、取引先企業にも複合的で体系的な管理ツールの側面を訴求することで、導入へ積極的になっていただけるよう努めています。環境に対して何かしなければいけない、ただ何をしていいかわからない。

当社のグリーン化プログラムの取り組みが、そうした協力会社の背中を押してあげていられるとしたら—とてもうれしく思います。企業の皆様が考えている環境対応と、世の中がその企業に期待している環境対応には、少なからずギャップがあると思います。そのギャップを埋めるためにも、エコアクション21のようなツールは非常に有効なのではないでしょうか。これまで漠然としていた協力会社の中に宿る「企業としての環境意識」を気づかせ、それを発現するきっかけにもなっているのではないかと考えています。

「自ら考える力」「問題解決していく力」を生むエコアクション21は 人の心を動かせるツールなのだ実感しています

エコアクション21の認証を取得してまだ日も浅いのですが、環境にとどまらない、人の心を動かせるツールなのだあらためて実感しています。エコアクション21の取り組みは、社長をはじめ全従業員が同じ方向を向いて、やるべきことを共有することが基本だと思っています。会社でのあらゆる行動をエコアクション21と絡めることで、「あれもエコだね」「これもエコだよ」と職場の中でも自然なコミュニケーションが生まれ、言われて動くのではなく自分たちが考えて動くという常に「矢印」を自分に向

け「自ら考える力」、「問題解決していく力」がついてきたと思います。こうして従業員ひとり一人の力が成長するツールとして、エコアクション21は思いがけず素晴らしい効果をもたらしてくれました。こうした気づきもあって、当社での環境への取り組みは、とても良いスタートが切れたと思っています。

環境への取り組みに対する要求をどのようにバリューチェーンへ落とし込んでいくのか。 グリーン化プログラムを継続してその要求に応えていきたい

エコアクション21中央事務局・地域事務局の支援によって、グリーン化プログラムを導入、展開できていることにも感謝しています。一企業が、自分たちだけでやるとしたら大変と言いますが、実施費用も含め厳しいのではないかと思います。こうした制度をうまく活用させていただくことで、明電舎の、まさに生産工程の一部を担う協力会社に対して環境経営への道を開き、バリューチェーン全体の強化を図っていきたくて考えています。私どものようなグループ、バリューチェーンを統率する立場の企業では、世の

中から、環境への取り組みに対する強い要求があります。この要求を、どのようにしてバリューチェーンを構成する取引先企業に落とし込んでいくのか、バリューチェーン管理の手法も問われています。この課題を解決する、取引先企業・協力会社の環境活動を支援する上で、グリーン化プログラムは大変ありがたい制度だと思います。来年度もこの制度のメリットを最大限に活かして、エコアクション21の認証取得企業をひとつでも増やし、バリューチェーン全体での環境活動を底上げできればと考えています。

課 挑 題

会社成長への手応えを感じさせるエコアクション21 その良いところを仲間に伝えていけたらいいですね

いろんな人間が集まっているのが会社、企業じゃないですか。その一人ひとりが力をつけて、物事を「何とかする」「何とかしていく」人間が増えれば、その会社、企業は成長すると思うんです。そうしたエコアクション21の副次的な効果に、会社成長への大きな手応えを感じています。また、違う世代の人間が集まる場所でもあるので、世代を越えて同じ価値観を生み出せるエコアクション21の取り組みは、従業員が一つにまとまるツールとして力を発揮してくれていると思います。これからもエコアクション21を

絡めた企業活動を通して、従業員みんなと良い時間を過ごしていけたらと願っています。そして、環境という枠組みにとらわれることなく、それぞれの会社に見合った取り組みができるエコアクション21の良いところを、以前の私のように決断できないでいる仲間に伝えていけたらと考えています。それが、認証取得までを支援くださった明電舎さんへの恩返しだと思っています。

有限会社東栄工業